

こんにちは



議会です!

きたもと議会だより



新庁舎及び(仮称)こどもプラザ建設工事

現庁舎は、耐震性能の不足による倒壊や崩壊等の危険性が指摘されており、災害時の防災拠点としての機能が果たせない状況も考えられます。また、庁舎の狭あいによる市民サービスへの支障や建物および設備も老朽化の進行などの課題の解決に向け、現在、新庁舎の建設工事を行っています。
(3月21日、現庁舎屋上で撮影)

会期日程

主な内容

3月定例会…
一般質問… ~
議会・委員会の動き… ~
提出案件の結果等…

2月25日(月)本会議(開会)
2月26日(火)議案調査日
2月27日(水)議案調査日
2月28日(木)議案調査日
3月4日(月)本会議(総括質疑)
3月5日(火)本会議(委員会付託)
3月6日(水)委員会(総務文教・建設経済)
3月7日(木)委員会(保健福祉)
3月8日(金)委員会(保健福祉・建設経済)
3月11日(月)委員会(総務文教)
3月13日(水)本会議(一般質問)
3月14日(木)本会議(一般質問)
3月18日(月)本会議(一般質問)
3月19日(火)本会議(一般質問)
3月21日(木)本会議(閉会)

No 84

平成25年(2013)5月1日発行
編集 議会だより編集委員会
発行 北本市議会
北本市本町1-111
TEL 048-591-1111
FAX 048-591-6335
www.kitamoto-gikai.jp/

3月定例会

平成25年度

一般会計予算を原案可決 6特別会計予算を原案可決

一般会計予算は203億9000万円、前年度比7.7%の増

2月25日から3月21日までの25日間の会期で開かれた定例会では、市長提出議案31件、議員提出議案1件、委員会提出議案1件、請願1件を慎重に審議しました。

特に、平成25年度北本市一般会計予算の可決に伴い、庁舎建設事業において、適切で安定的な財源措置を図ることを要望する旨の附帯決議が提案され、挙手多数により可決しました。

今定例会で審議された市長提出議案のうち、質疑がなされた議案について、その主なものを掲載します。

議案第1号 平成25年度北本市一般会計予算について

Q、平成25年度予算編成の特徴について

A、平成25年度の一般会計予算の総額は、203億9,000万円で、対前年度比14億5,000万円、7.7%の増となりました。また、特別会計を含む北本市の予算総額は343億2,636万円で、対前年度比14億7,049万円、4.5%の増となりました。平成25年度予算に計上した

金額の大きな事業は、新庁舎建設事業17億8,781万円(仮称)こどもプラザ建設事業7,840万円、道路新設改良事業1億2,640万円、中央通線整備事業1億1,348万円、公園環境整備事業1億500万円、栄小学校プール改修事業4,455万円等です。

また、特色のある新規拡充事業として、義務教育の9年間を見通し、子どもたちの発達段階に応じた小・中一貫教育の推進を図るための学校4・3・2制研究モデル校事業、子どもたちの健やかな成長と子育て家庭の負担の軽減を図るための0歳児おむつ無料化

事業、本市の恵まれた自然環境を次の世代に引き継ぎ、環境や景観に配慮したまちづくりを進める石戸蒲ザクラ周辺整備事業、生活道路における交通安全対策として、一定のエリア内の制限速度を30キロとするゾーン30事業、安心安全なまちづくりを進めるため、北本駅東西駅前広場への防犯カメラの設置事業、るるぶ北本改訂版の発行や弘前観光コンベンション協会等の協力を得て北本まつりの充実を図る等、本市の観光振興とイメーリアップを図り観光100万人都市の実現に向けた取組み、世界基準の安心安全なまちづくりを目指し、セーフコミュニティ

テイの認証に向けた取組み、新庁舎建設に合わせてパスポートの申請受理交付事業、効率的な事務の実施を確立させ、窓口サービスの向上を図るためのISO9001認証取得事業等を予算計上しました。平成25年度はこれらの事業の推進を図ることにより、市民福祉の向上と本市の発展に向け取り組んでいきます。

総括質疑通告者

- 伊藤堅治(平成会)
 - 高橋節子(民主北本)
 - 桂 祐司(無所属の会)
 - 中村洋子(共産党)
 - 岸 昭二(公明党)
 - 大嶋達巳(政策北本)
 - 工藤日出夫(市民の力)
- 通告順に掲載

【紹介】

今定例会において同意及び当選されました方々を紹介いたします。

- 教育委員会委員
- 住所 北本市高尾1丁目 280番地
- 氏名 金井 裕氏

- 埼玉県中央域公平委員会委員
- 住所 北本市中丸5丁目 62番地
- 氏名 高岡輝夫氏

- 北本市選挙管理委員会委員
- 住所 北本市深井4丁目 61番地
- 氏名 深谷榮作氏

- 住所 北本市石戸5丁目 47番地
- 氏名 小川貞夫氏

- 住所 北本市西高尾6丁目 56番地
- 氏名 西澤雅恵氏

- 住所 北本市宮内1丁目 155番地
- 氏名 西脇美代子氏

- 北本市選挙管理委員会委員補充員
- 住所 北本市中丸7丁目 251番地
- 氏名 本多 晃氏

- 住所 北本市中央2丁目 93番地
- 氏名 内田容子氏

- 住所 北本市荒井1丁目 77番地
- 氏名 新井保好氏

- 住所 北本市本宿6丁目 7番地
- 氏名 花岡和子氏

市政に対する一般質問

平成24年第1回定例会から、一問一答方式または一括質問一括答弁方式との選択制で実施しています。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずぬもので、定例会に限って行われます。

今定例会では、16人の議員から61件105項目について質問がありました。

その中から主なものの答弁を掲載しました。

公民館等の 老朽化

問1 公民館等の耐震と老朽化対策について

答1 耐震診断を必要とする時期に建設された建物の、勤労福祉センターとコミュニケーションセンターについては耐震診断の結果、耐震性能

は満たしており補強工事の必要はなしと報告書が提出されています。その点では市民の皆様が安心してご利用いただけることが確認できています。しかし、各施設とも老朽化が進んでいる状況にあります。現在の対応は、法的な保守点検での指摘事項への対応や、突発的な不具合に緊急的な修繕や補修をしているところです。改修については、今後

各施設の大規模な改修工事も順次必要となってくるものと考えています。具体的には、公共施設等整備検討委員会で検討していくことなっています。



昭和54年に建設された勤労福祉センター

新庁舎建設

問1 市のホームページを活用して進捗状況を随時発信し、市民に知らせてもらいたい

答1 建設工事の状況の公開、また情報提供は、広報紙やホームページを利用し、

滞りのないよう留意して取り組んでいます。市役所文化センター、駅の通路にもお知らせ等を掲示し、週単位の詳細な工事工程は市役所内及び周辺の工事看板で掲示しています。市民の皆様には、駐車場の不足等ご迷惑をおかけしていますが、既存敷地内での工事というところで、ご理解ご協力を頂いているところです。

問2 市民による現場見学会を実施してもらいたい
答2 現在、第1期工事の建物骨組みが始まっていますので、見学していただくには各階の床部分が設置されてからが望ましいと考えています。現在の予定では5月下旬の実施を目的に検討したいと思っています。



工事の進む新庁舎建設 4月15日現在

3月定例会 一般質問

質問通告順に掲載

- 伊藤堅治(平成会)
 - ・観光100万人都市の検証
 - ・コウノトリ基本計画策定事業
 - ・通学路の整備及び安全対策
 他3件
- 滝瀬光一(平成会)
 - ・アセットマネジメント
 - ・市内事業者の育成
 - ・高尾橋
 他1件
- 保角美代(公明党)
 - ・自殺対策
 - ・市政の情報発信
 - ・余裕教室の有効利用
 他1件
- 高橋節子(民主北本)
 - ・小型家電回収とLED化促進事業
 - ・市民の健康管理と福祉施策
 - ・食料自給率の向上と農業の育成
 他1件
- 大嶋達巳(政策北本)
 - ・児童・生徒の交通安全対策
 - ・学校給食
 - ・PM2.5
- 大澤芳秋(政策北本)
 - ・二ツ家1丁目に開店する大型店舗周辺の交通対策
 - ・道路の管理
 - ・テノタメ遺跡の発掘状況
- 島野和夫(公明党)
 - ・ごみ処理の広域化
 - ・市内公共施設の耐震化と老朽化対策
- 投票率の向上対策

食物アレルギー対応

問1 給食により、食物アレルギーを持つ児童の死亡事故がありました。北本市における状況は

答1 本市においても、食物アレルギーを持つ児童生徒は、年々増加の傾向にあ

り、平成24年5月時点で、小学生165名、全体の約4・6%、中学生36名、約2%です。そのうち、給食

において特別な配慮を行っている児童は41名、生徒は21名います。さらに重篤な症状であるアナフィラキシーを起す危険性があり、エピペンを処方されている児童・生徒が5名在籍しています。

問2 学校給食については、

どのような対応が行われているか

答2 本市では、平成20年3月に、財団法人日本学校保健会が発行する「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」に基づき、対象児童・生徒が安心して学校生活が送れるよう、保護者と連携を図りながら対応しています。アレルギー疾患の児童・生徒に対する取組みを進めるに当たり

ましては、一つ目、個々の児童・生徒を確実に把握すること、二つ目、医師の診断に基づき適切に対応すること、三つ目、症状が急速に変化し得ることを理解し、緊急時の対応への準備を行うていくこと。この3点について徹底を図っています。

エピペンとは
アナフィラキシーの症状を緩和するために、自己注射する補助治療剤です。

いのちのゲートキーパー

問1 ゲートキーパーとは
答1 悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて必要な支援につなげ、見守る人をゲートキーパーと言います。ゲートキーパーで重要なことは、家族や仲間

の変化に気づき声をかけること、本人の気持ちを尊重し傾聴すること、早目に専門家に相談するよう促すこと、温かく寄り添いながらじっくりと見守ることです。

悩みを抱えた人は、人に悩みを話せない、どこに相談に行けばよいか分からない、どのように解決したらよいか分からないなどと言われているので、悩みを抱えた人を支援するゲートキー

パーの存在は、とても大きいと認識しています。

問2 ゲートキーパーの養成について

答2 ゲートキーパーを担う人材としては、悩みを抱えている方の身近にいる市民をはじめ、医療、福祉、住民組織、ボランティアを行っている方など、幅広く考えられます。自殺の背景を見ると、健康、経済、生活問題、無職などの要因が

大きくかかわっています。

市では、病気、障がい、保健、税金、就労など市民生活に密着した業務を幅広く行っているため、不安を抱える市民とかわる機会も多いと考えます。このことからゲートキーパーの養成については、セーフコミュニティ活動の一つとして、今後、市役所の職員を対象とした研修会の実施について進めたいと考えます。

- 中村洋子（共産党）
- 公民館を市民が使いやすい施設にするために
- 生活保護
- 下水道接続工事における自己負担への対策

- 湯澤美恵（共産党）
- 緊急時通報システムの現状と課題
- 「24時間地域巡回型訪問サービス」事業の現状と課題
- 要介護認定者の所得税・市民税の障害者控除

- 工藤日出夫（市民の力）
- 人事管理
- 地教法第17条における教育委員会の指揮監督
- 太陽光発電事業に公共施設の屋根等の場所貸し

- 加藤勝明（平成会）
- 職員の雇用状況
- 子どもたちの交流事業
- 道路行政

- 金子真理子（民主北本）
- 障がい者の就労拡大
- 学校給食自校方式の有効性
- JR線路敷地境の除草

- 渡邊良太（無所属の会）
- こども医療費
- 高齢者見守りネットワーク
- 中丸地区の交通安全対策

- 他1件

- 他2件

- 他1件

市内業者の 受注機会拡大

問1 官公需の契約実績は

答1 平成23年度の工事請負契約等の発注実績について、建設工事・物品は、全て中小企業者が受注しました。設計等を除く業務委託、賃貸借につきましては、約

4割弱を中小企業者が受注しました。また、そのうち市内事業者の建設工事の受注実績は、発注件数78件中53件となっています。物品等は、発注件数79件中43件となっています。

問2 市内事業者の受注機会拡大施策について

答2 透明性、競争性、公正性、品質の確保を担保した上で、市内事業者の受注機会の拡大を図るため、市

内事業者で取り扱えるものは、市内事業者を中心とした発注に努めています。その対応の一つには建設工事の発注が中心となりますが、分離・分割発注を行っております。大型工事を建築、電気、機械の工種別に発注し、

大型の工事を分離することにより、市内事業者の受注が可能となり、市内事業者の受注拡大につながると考えています。また、工事の

内容、工事箇所の特性及び工期などから分割発注を行うこともあります。新たな取組みとして、これまで工事を受注した際には、配置する現場代理人について常駐を義務付けていましたが、

市内事業者に限り、平成24年度4月より一定の条件を満たす工事は、合計2件までの工事の現場代理人を兼務することができるとなりました。

ゴミ処理計画

問1 これまでの経緯は

答1 北本市のごみ処理は、燃やせるごみと粗大ごみが埼玉中部環境保全組合の施設で処理されています。組合を構成する団体は北本市、鴻巣市、吉見町の2市1町

です。平成19年7月、ごみ処理の広域化及び新たな施設の建設は、組合内に施設整備検討委員会が設置され、検討が行われてきました。

問2 検討の結果は

答2 最大11市町村での広域化など、さまざまな枠組みを検討しましたが、合意が得られませんでした。最終的には平成25年2月、ごみ処理の広域化は、北本市、鴻巣市、行田市の3市で行

うことで合意しました。埼玉中部環境保全組合の施設については2市1町で運営し現施設が存続する限り、ごみ処理は継続されます。

問3 今後について

答3 北本市、鴻巣市、行田市の3市でごみ処理広域化勉強会が発足し、首長会議及び勉強会を開催しております。その中でごみ処理施設の視察、ごみ処理施設稼働までの手順の想定、国

県の補助金等について検討しています。今後は、北本市、鴻巣市、行田市の3市でごみ処理広域化協議会等を設立し、建設市の選定、事業主体となる一部事務組合の設立、焼却方式の選定、ごみの分別方法等の検討を行い、新たなごみ処理施設の建設等を進めます。



傍聴のご案内

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題を審議しています。身近な市政を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

高橋伸治（市民の力）

- ・国際交流
- ・限界集落
- ・住民基本台帳カード

他1件

黒澤健一（平成会）

- ・北本市のごみ処理
- ・組織機構の改正と職員定数
- ・教育行政の状況

桂 祐司（無所属の会）

- ・認知症サポーターの養成拡大策
- ・新駅設置
- ・市民と創る機能的で簡素な防災庁舎の建設

他1件

次回の定例会は、

6月3日(月)

開会の予定です。

総務文教常任委員会

「デマンドバス」

Q. デマンドバスの台数を増やせば予約は取りやすくなるのか

A. 現在のデマンドバス（ワゴン車2台、普通自動車1台）の運行費用は、3台で約2,000万円かかっています。また、平成23年度の利用者数は約2万人で、一人当たりの運行単価は1,000円程度となっています。運行台数を増やせば、1台あたり年間600万円から700万円の費用がかかりますので、まずは、予約時間をずらしていただいたり、乗り合いを増やすなどの方法を検討しています。来年度は台数を増やすことによるメリット、デメリット等も検討していきたいと考えています。

「セーフコミュニティ」

Q. セーフコミュニティの認証取得に当たってどのような組織をつくってどのような活動を行っていくのか

A. セーフコミュニティの組織については、トップに市内の安心・安全にかかわる代表の方で構成される推進協議会があります。また、各分野の具体的なデータを分析して結果を導き出し、実効性のある取組みについてのアドバイスをする機関として公衆衛生の専門家等で組織する外傷サーベイランス委員会があります。さらにその指導に基づいて具体的な取組みを考えていく交通安全・高齢者・子ども・自殺・防災・防犯の六つの対策委員会があります。活動の進め方については、来年度の各対策委員会の中で決定していくこととなりますが、市民の理解を得て、市民と行政との協働による安心・安全なまちを目指していきたいと考えています。

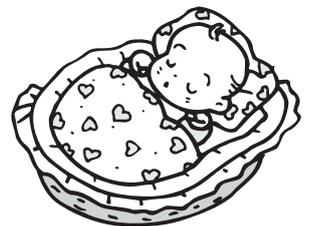


保健福祉常任委員会

「0歳児おむつ無料化」

Q. 0歳児おむつ無料化について

A. 平成25年7月から事業を開始予定ですが、今回事業化にあたりまして、24年8月以降の事業施行前1年間に出生した幼児についても経過措置を予定しています。具体的なクーポン券の交付方法は、出生届や転入届の際、市役所でクーポン券を交付し、市と契約を取り交わした店舗でクーポン券とおむつを交換できる方法を考えています。また、経済産業省によると99%の家庭で紙おむつを使用しているとのデータがありますが、一方で布おむつを使用している方もいます。さらに、途中で転出する場合の取扱いなど課題がありますが、引き続き事業の詳細を検討し、事業実施要綱で確定をしていきたいと考えています。



「健康増進計画」

Q. 健康増進計画について

A. 健康増進計画は、市民の健康増進の総合的な推進を図るために策定するもので、市民の健康の特徴を分析し、課題を捉えて、その課題について取組みを手厚くしていきたいと考えています。本市の場合、高齢化が進んでいますので、運動や栄養、休養、歯の健康を手厚くしていく計画になると現時点では考えています。この計画は1年度で策定することになっていますので、市民の意見や庁内の意見を交えながら案を作成し年度内の策定を目指していきます。策定後には、周知を図るためのパンフレットの作成、配布、ホームページや広報への掲載を行う予定です。この計画が市民の生活に溶け込み、身近に感じることができ、市民自らが健康づくりに取り組んでいけるよう考えています。

建設経済常任委員会

「サマーフェスタ」

Q. サマーフェスタの復活について

A. 中央通線が広く新しくなりましたので、そのお披露目も兼ねて商工会からサマーフェスタ事業の復活をさせたいとの要望がありました。現在、商工会では実行委員会を設置し、商工会青年部を中心に事業内容を検討しています。

サマーフェスタ事業は、8月3日に中山道に加え東中央通り商店会の皆さんも一緒に実施すると聞いていますので、これを機に会場周辺の商店会の活性化につながればよいと考えています。また、観光100万人都市を目指していますので、イベントを行うことにより来訪者が増加すること、さらには商工会の若手青年部が中心となることにより今後の商工会の活性化にも期待したいです。

「市道12号線」

Q. 市道12号線の今年度事業について

A. 市道12号線の今年度事業については、総合福祉センターの交差点から西に向かい県道さいたま鴻巣線の交差点まで、片側1車線の交互通行で道路の両側に歩道を整備し、歩道と車道の間には自転車道の整備を予定しています。また、県道交差点付近の未買収の用地については、埼玉県警察本部との交通協議に時間を要したことから、平成24年度予算を繰越明許し、今後、用地取得を進めていきます。



歩道や自転車道の整備が予定されている市道12号線

特別委員会の報告

○庁舎等建設特別委員会

特別委員会は、平成25年1月8日に第18回、3月15日に第19回の会議を開催し、「議場エリアの設備・仕様について」と「新庁舎議場の開場式について」を議題としました。

議場エリアの設備・仕様について

議会エリアの壁面などの仕様については、当初のものより、安価なものとするを、すでに確認していますが、今回は、議員控室の間仕切りを全て可動式にせず、一部固定にすることにより、約200万円のさらなる縮減を図りました。また、会議の様子が確認できる映像や音響設備については、費用対効果を考慮して、必要最小限のものを設置する予定になっています。

新庁舎議場の開場式について

他市の事例を検討した結果、アトラクションなど、華美で経費を必要とする内容は行わず、除幕式程度のセレモニーを行うことを決定しました。なお、旧議場の閉場式もこれまでの歴史に敬意を表して、粛々としたセレモニーのみ行うことを決定しました。

主な提出案件の結果一覧

議案名	議決結果	平成会	公明党	政策北本	日本共産党	無所属の会	市民の力	民主北本
平成25年度北本市一般会計予算	可決				×			
平成25年度北本市後期高齢者医療特別会計予算	可決							
平成25年度北本市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計予算	可決				×			
平成25年度北本市公共下水道事業特別会計予算	可決							
平成25年度北本市国民健康保険特別会計予算	可決							
平成25年度北本市介護保険特別会計予算	可決							
平成25年度埼玉県央広域公平委員会特別会計予算	可決							
北本市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部改正について	可決							
北本市手数料条例の一部改正について	可決							
北本市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について	可決							
北本市都市公園条例の一部改正について	可決							
北本市市営住宅設置及び管理条例の一部改正について	可決							
教育委員会委員の任命について	同意							
埼玉県央広域公平委員会委員の選任について	同意							
平成24年度北本市一般会計補正予算(第6号)	可決							
「議案第1号」平成25年度北本市一般会計予算に対する附帯決議	可決				×		×	×
北本市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正について	可決							
請願 年金2.5%の削減中止を求める意見書を提出する請願	不採択	×	×			×		×



* 上記以外に16件の議案審議がありました。いずれも挙手全員により原案のとおり可決しています。

は議案に対して賛成の会派
 ×は議案に対して反対の会派
 は議案に対して賛成と反対のあった会派

各会派の議員数 平成会【6人】 公明党【3人】 政策北本【3人】 日本共産党【2人】
 無所属の会【2人】 市民の力【2人】 民主北本【2人】 (平成25年3月31日現在)

委員 黒澤健一	副委員長 保角美代	委員 高橋洋子	委員 桂橋治子	委員 大嶋達巳	委員 金子眞理子
---------	-----------	---------	---------	---------	----------

編集後記

議会だよりとは、市民に理解していただける内容になっていくのか、議員の課題をどう市民に知らせるのか、正確性や迅速性はどうか、悩みながらも委員の議論に共通のまとまりがありました。議長へ提案したことは、「名称を議会広報委員会に改称する。委員会活動にも事業費を予算化する。他市の議会だより編集委員会と交流。市議会ホームページのチェック修正機能と迅速性を加える」でした。市民の皆さんの感想では、紙面で一般質問が解り易くなった。議案に対する会派毎の賛否が明確になった。ホームページの録画配信がとても早くなった。

二年の歳月が過ぎました。時代は進みます。出来なかつたことを、次のメンバーに託します。(健)